

行ってこーわい 会ってこーわい

「三好凜太郎さん 早瀬顕正さん 神野鉄平さん」

中学校囲碁団体戦で優勝 全国の舞台へ

No. 46

北伊予中学校の三好凜太郎さん(3年)、早瀬顕正さん(3年)、神野鉄平さん(2年)は、6月3日に松山市で行われた文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦の県予選中学生の部で優勝し、7月に東京で行われる全国大会への出場を決めました。

団体戦は3人一組のトーナメント戦。三好さんは持ち前の粘り強さで、早瀬さんは味のよい手を打ち続けて、神野さんは強気の攻めで勝ち進み、見事優勝しました。

3人が囲碁に出会ったのは小学生のとき。東公民館の囲碁クラブで腕を磨きました。中学生になると、3人とも運動部に所属し、囲碁クラブへの参加が難しくなったため、休日に松山の五百木囲碁教室に参加しています。

三好さんは「昨年の全国大会では1勝もできなかった。公民館への恩返しのためにも1勝します」とにっこり。早瀬さんは「最初は公民館で囲碁を覚え、五百木教室で技を教えてもらった。いい報告ができるように頑張りたい」と意欲を見せます。神野さんは「頼りになる先輩がいて心強い。全国でも負けるのを恐れず頑張りたい」と笑顔で話していました。



1. 優勝した賞状を手に。写真左から三好凜太郎さん、早瀬顕正さん、神野鉄平さん 2. 昨年の全国大会の様子

▼編集後記

我が家で麦ごはんを炊きました。「昔よつ食べたんよ。炊きあがったとき、麦は軽いけん、白米の上に浮き上がるやろ？」おばあちゃんはんまり混ぜずに、私ら子どもに下の方を食べさせてくれよつたんよ」と懐かしそうに話す母。なんだかつれしくなりました。今月の特集を読んで、たくさん家族が懐かしんだり、新しい発見をしたり、たくさんのお話を感してくれとつれしくです。(高橋)

先月、3日間ほど中国の留学生をホストファミリーとして受け入れました。どこへ連れていけば喜ぶだろうと、にぎわいのある土曜夜市などに連れていきました。でも留学生が一番うれしそうに見ていたのは、松前町二杯に広がる田園風景でした。夕日に照らされたその景色は「キレイで、静かで、雰囲気がとてもイイ」そうです。私たちに何でもないようなものが、実は価値があり、外国の人にも自慢できるものなのかも知れませんね。(松田)



広報まさきに有料広告を載せませんか？

広報まさきに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、町ホームページをご覧になるかお問い合わせください。

◆広告掲載枠

広報まさきの裏表紙(下欄3枠、1枠の大きさ=縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー)

◆配布状況

毎月1日発行。発行部数1万1500部。町内全世帯へ配布

◆広告掲載料

1枠、1月当たり2万円

問 総務課広報情報係 ☎985-4132

